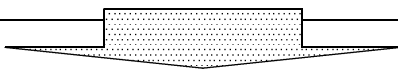


第4学年国語科学習指導案

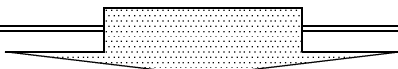
日時 平成26年9月30日(火) 5校時
 児童 男子7名 女子10名 計17名
 指導者 教諭 岩間 勝範

1 言語活動のGPS (Grade=発達段階の明確化, Process=学習過程の明確化, Style=言語活動の種類や特徴の明確化) 「单元名」登場人物の気持ちの変化を読み取り、「後語り」を考えて交流しよう。

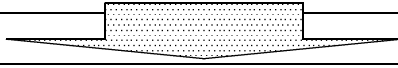
児童の実態			
○関心・意欲・態度	○身に付いている言語能力	○まだ身に付いていない言語能力	○既習事項・内容
<ul style="list-style-type: none"> 本を読んだ感想をくわしく書こうとする。 ペアで考えを話すことができる子が多い。 音読や読書に進んで取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 話題に合った感想を書く力。 友達に自分の考えを話す力。 必要な文や言葉を見つけて線を引いたり、書き抜いたりする力。 	<ul style="list-style-type: none"> 叙述を基に想像して読む力。 自分の考えを根拠を明確にして述べる力。 自分と友達の考えを比べる力。 	<ul style="list-style-type: none"> 様子がわかるように音読すること。 登場人物の会話や行動などに着目して読み取ること。 物語の組立を読むこと。



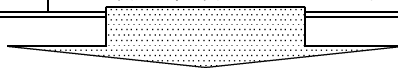
<p align="center">「読むこと」の能力を育てるための指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 場面の移り変わりに注目しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述を基に想像して読むこと。【読むこと(1)ウ】 文章を読んで考えたことを発表し合い、一人一人の感じ方について違いのあることに気付くこと。【読むこと(1)オ】
--



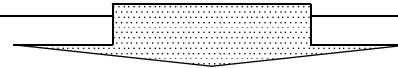
<p align="center">本単元で身に付けさせたい力</p> <ul style="list-style-type: none"> 登場人物の行動や気持ちの変化を読み取る力。 ←行動や会話など叙述に即して読み取り、「ごんぎつねのお話の図」に表す。 一人ひとりの考えや感じ方の違いに気付く力。 ←「ごんぎつねの後語り」を基に、自分の考えを話し合う。



<p>表現様式</p> <p>「ごんぎつねの後語り」 「ごんぎつね」の後語りとして兵十がごんのことを加助に語ったことの中にごんに対する思いやしたこと、自然描写などを書いたお話作り。</p>	<p>言語活動</p> <p>◎「ごんぎつねの後語りを書いて交流しよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> 「ごんぎつね」を読んで、登場人物の気持ちの変容を読み取る。 読み取ったことを生かして、ごんぎつねの後語りを考えて書き、書いたものを交流し合う。
--	--



言語活動を支えるための知識・技能		
○設定をとらえる。 ・場、場所、登場人物、キーワードになる言葉、あらすじなどを読み取る技能。	○登場人物の気持ちの変容を読む。 ・登場人物の行動や会話を基に、人物の気持ちの変化を読み取る技能。	○友達とお互いの考えを話し合う。 ・自分の考えを進んで話し、友達の考えをよく聞く技能。



学習材 「ごんぎつね」 新美 南吉 作 (光村図書4年下) 並行読書 新美南吉さんの本
--



指導計画の作成
第一次－「ごんぎつねの後語りを考え交流する。」という単元のゴールを確かめる。 第二次－「ごんぎつね」について読み取ったことを交流し合い、お話の図にまとめる。 第三次－「ごんぎつね」の後語りを考え交流し合う。新美南吉さんの他の本の後語りを考え交流し合う。

2 児童への事前調査

	すき	すこしすき	すこしきらい	きらい
Q1. 国語の学習は、好きですか。	1 3	3	1	0
Q1. 説明文の学習は、好きですか。	1 4	2	1	0
Q1. 物語文の学習は、好きですか。	1 6	0	1	0
Q1. 話し合う学習は、好きですか。	1 5	2	0	0
Q1. 読書は、好きですか。	1 7	0	0	0

(調査人数17名 平成26年4月調査)

3 単元の指導目標と評価規準

指導目標	関心・意欲・態度	読むこと	伝統的な言語と文化と国語の特質に関する事柄
	・物語の登場人物について考えたことを話し合うという目的に応じて、進んで自分の考えを話したり、内容を読み取ったりしようとする。	・後語りを考えるために場面の移り変わりや心情の変化を捉えるとともに、考えた続き話を叙述に基きながら発表し合い、一人一人の考え方の違いに気付くことができる。	・場面の様子がよく分かる言葉や気持ちを表す言葉、作者の優れた表現を見つけることができる。
評価規準	関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
	・物語や続き話を読んで、登場人物について心ひかれるところや考えたことを進んで話そうとしている。	・後語りを考えるために、場面の移り変わりの印象的などころや主人公の気持ちの変化を捉えて読んでいる。(ウ) ・物語や後語りを読んで考えたことをどの叙述に基いているかなどを明らかにしながら発表し合い、一人一人の感じ方について違いがあることに気付いている。(オ)	・言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いている。 (イ (ア))

4 単元の指導計画と評価計画 (11時間)

次	指導目標	時	主な学習活動	具体的評価規準
第一次	・「後語り」について理解し、「ごんぎつね」の学習計画を立てることができる。	1	○「後語り」を書くことに興味をもち、単元の学習のゴールの見通しをもつ。 ○「ごんぎつね」を読んだ感想を発表し合い、「ごんぎつね」の後語りを書くために必要な要素を確かめながら、学習計画を立てる。 ○新美南吉の本を紹介し、並行読書の進め方を確かめる。	単元の学習に興味をもち、学習の見通しをもっている。 (関心・意欲・態度)

第二次	<ul style="list-style-type: none"> 学習材の設定と場面をとらえ、場面ごとに小見出しをつけることができる。 	2 3	<ul style="list-style-type: none"> ○「ごんぎつね」の設定を捉え、場面を確かめる。 ○ごんや兵十の行動や会話を基にして、場面ごとに小見出しをつける。 	学習材の設定や場面を理解し、場面ごとに小見出しをつけている。 (読むこと ウ)
	<ul style="list-style-type: none"> ごんや兵十の気持ちの変化について読み取ることができる。 	4 5 6 7	<ul style="list-style-type: none"> ○ごんや兵十の行動や会話文、心情描写を基に登場人物の気持ちを読み取る。 <ごん>寂しさ 後悔 償い 引き合わない <兵十>憎さ 後悔 	登場人物の気持ちを読み取り、お話の図に表している。 (読むこと ウ)
第三次	<ul style="list-style-type: none"> 登場人物の心情の変化に着目し「ごんぎつね」の後語りを考えることができる。 	8	○登場人物の心情の変化や作品の表現の工夫を想起しながら、「ごんぎつね」の後語りを考える。	お話の図をもとに、登場人物の気持ちの変化をとらえながら、後語りを考えている。 (読むこと ウ)
	<ul style="list-style-type: none"> 「ごんぎつね」の後語りを読み合い、お互いの考えを交流することができる。 	9 本時	<ul style="list-style-type: none"> ○それぞれが書いた後語りを基に、お互いの考えをグループで交流し合う。 ・ごんの気持ちの変化 ・兵十のごんへの思い ・その他（村人がしたことや自然の描写など） 	後語りを読み、お互いの考えや感じ方の違いに気付いている。 (読むこと オ)
	<ul style="list-style-type: none"> 「ごんぎつね」の後語りを読み合い、お互いの考えを交流することができる。 	10	○自分のグループ以外の友達の後語りの違いを見つけて伝え合う。	後語りを基に話し合い、お互いの考えや感じ方の違いに気付いている。 (読むこと オ)
	<ul style="list-style-type: none"> 自分が選んだ話の後語りを考え、お互いの考えを交流することができる。 	11	○並行読書してきた新美南吉の本から1つ選び、後語りを考え交流し合う。	自分が選んだ話の後語りを交流し合い、お互いの考えや感じ方の違いに気付いている。 (読むこと オ)

5 本時の指導（9／11時間）

(1) 目標

「ごんぎつね」の後語りを読んで交流し、お互いの考えや感じ方の違いについて気付くことができる。

(2) 具体の評価規準

A	B	指導の手立て
後語りを読んで、お互いの考えや感じ方の違いに気付き、自分の考えと比べて友達の良いところを見つけている。	後語りを読んで、お互いの考えや感じ方の違いに気付いている。	友達との違いや良さの見つけ方を一緒に確かめる。また、掲示などを基に、前時までの学習を想起させる。

(3) 本時の指導事項

「ごんぎつね」の後語りを読んで、お互いの考えの違いに気付くことを本時の目標とする。構成要素を同じにして書かれた後語りを読み合うことで、お互いの考えや感じ方の違いに気付くことができると考えられる。そのための活動は、以下の通りである。

まず、グループの友達の書いた後語りを読んで、自分の後語りとの違いを見つける。そして、見つけた違いや良さについてグループごとに考えを交流し合う。交流し合う時は、どのような考えで後

語りを書いたかを話したりお互いの後語りの違いを認め合ったりする。最後に、後語りについて交流し合ったことをもとに、活動の振り返りをする。

以上の活動を通して、本時の目標やねらいの達成に迫らせたい。

(4) 展開

段階	学習活動	発問や指示 (○) 児童の反応 (・)	評価(*)及び留意事項(・)
つかむ	1 本時の学習の課題を確認する。	○今日は、友達の書いた「後語り」を読み合ひましょう。 後語りを読み合って、自分の後語りとのちがいを伝え合おう。	・本時の学習を掲示や単元計画表を基に確かめさせる。
5分	2 読みの視点を確認する。	○自分と友達の後語りの違いを見つける視点は何か。 ・ごんや兵十の気持ちの変化です。 ・終わり方の工夫です。 ・その他の工夫です。	・前時に後語りを書いた時の観点を基に違いを見付けることを確かめさせる。
さぐる	4 後語りを読み合ひ、それぞれの違いを見つける。	○グループごとに後語りを読み合ひます。視点に沿って自分の後語りと「違うところ」を見つけてみましょう。	・グループの友達の後語り全員分載っているシートを用意する。 ・違うところにはサイドラインを引かせたり、メモを書かせたりさせる。
ふかめる	5 グループごとに自分の考えを交流し合う。	○グループごとに、交流の手順に沿って、お互いの後語りの違いを伝え合ひましょう。友達の話を聞いて感じたことや気付いたことはメモしましょう。 <後語りの違いについて> ・ごんの気持ちの変化を詳しく書いてあった。 ・兵十の気持ちの変化を詳しく書いてあった。 ・終わり方の工夫が違っていた。 ・ぼくが書いていないことを書いていた。 <感じたことや気付いたこと> ・ごんの気持ちのことを一番メインに書いていた。 ・ぼくも○○さんと同じ考えだった。 ・わたしが気付かないことを○○君は気付いていた。	・交流の手順を掲示し、確かめさせる。また、交流をして気付いたことや感じたことをメモさせる。 *自分と友達の後語りを比べながら交流している。(読むこと 才)
まとめる	6 本時の学習を振り返る。	○今日の振り返りを書いて発表しましょう。	・視点に沿って振り返りをさせる。また、振り返りに書いたことを発表させる。
10分	7 次時の予告をする。	○次の時間は、今日のグループ以外の友達の後語りを読んで、違いや良さを見つけて交流し合ひましょう。	・単元計画表を基に、次時の学習を確かめさせる。

(5) 板書計画

こんぎつね

新美 南吉 作

① 後語りを読み合って、自分の後語りとのちがいを伝○後語りの観点

後語りの文例

交流の手順（三人組をABCとする）

- ① B・CがAの後語りとのちがいを話す
- ② B・CからAへ質問をする
- ③ Aは自分の後語りについて話す
- ④ 同じやり方で三人分行う